

# まちの名に 歴史あり

問い合わせ 社会教育課文化財係 (TEL 893・8111)

たかつか うしばか 現在、関西創価学園  
**高塚・丑墓** の敷地がある地域一帯  
を高塚と言います。

この場所は、学校が建設される以前は小高い丘で、6世紀頃の群集墳があったことが地名の由来になっています。「平安時代に惟喬親王がお見えになった」や、「鷹の首が埋められていた」ため、地名になったという言い伝えもあります。

丑墓は、寺地区の旧集落であった今井の北北東にあたり、丑は方角を表しています。今井の東には高塚があり、今井の住人は古代の古墳が多くあった高塚付近に墓地を建てたと推測できます。

につきょうぼう  
**日教坊** 日教坊は竜王山の麓  
に位置し、「尼教坊」と  
書いたとも言われています。

竜王山は山岳仏教の修験の場であり、山頂には八大竜王社を祀る小さな祠があります。日教坊は、その修験者や神官たちの宿坊があったことから名付けられたと言われています。



竜王山山頂の竜王石と祠

## 「文化財友の会」の会員募集

平成25年度の会員を募集します。歴史に興味がある人はぜひご参加ください。

**内容** ①「文化財だより」の配布 ②現地説明会・指定文化財公開・市民文化財講座・出版刊行物・バス見学会の案内

**申し込み・問い合わせ** 年会費 1,000円を持って社会教育課文化財係

おがみ  
**尾上**

尾上は北山の山麓にあたる丘陵地で、倉治と私部の境界に位置し、各地域の墓地が集中している場所です。

また、この付近はわき水が豊富で、ため池から田に引く水を確保するため、寺・私部・倉治でもめ事が起こるほど、重要な場所でもありました。

きたやま なかやま みなみやま  
**北山・中山・南山**

郡山街道より南の山地部分で、寺地域を囲むように北から北山、中山、南山へと続いています。

南山には、市内最古の古墳と言われている鍋塚古墳があり、弥生時代の住居跡も発掘されています。この地域に古い時代から人が住んでいたことが分かります。



かいと  
**垣内**

上町の南東で、棚田と段々畑となっている場所を垣内と言います。

垣内とは、これから開墾する土地を垣で囲んだ場所を意味しますが、今回紹介する垣内は、既に開墾された土地を垣で囲んだものです。

この地域の棚田は見事なもので、昔に比べて耕作地は減少していますが、現在も美しい風景が残っています。

※4月から、文化財事業団は社会教育課文化財係となりました。

